

平成21年第4回辰野町議会定例会会議録(16日目)

1. 開会場所 辰野町議事堂

2. 平成21年3月19日 午後2時開議

3. 議員総数 14名

4. 出席議員数 14名

1番	中村守夫	2番	矢ヶ崎紀男
3番	永原良子	4番	前田親人
5番	宇治徳庚	6番	宮下敏夫
7番	成瀬恵津子	8番	船木善司
9番	三堀善業	10番	中谷道文
11番	岩田清	12番	山岸忠幸
13番	根橋俊夫	14番	篠平良平

5. 会議事項

日程第1 議案第17号辰野町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について

日程第2 議案第18号辰野町今村介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について

日程第3 議案第19号辰野町唐木澤介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について

日程第4 議案第26号辰野町介護保険条例の一部を改正する条例について

日程第5 議案第39号辰野町公の施設の指定管理者の指定について

日程第6 議案第20号辰野町地域優良賃貸住宅管理条例の制定について

日程第7 議案第43号辰野町道路線の認定について

議案第44号辰野町道路線の変更について

議案第45号辰野町道路線の廃止について

日程第8 議案第1号平成21年度辰野町一般会計予算の歳入全部、歳出の内1. 議会費、2. 総務費、4. 衛生費の内水道費、6. 農林水産業費、7. 商工費、8. 土木費、9. 消防費、12. 公債費、14. 予備費

議案第2号平成21年度辰野町上水道事業会計予算

議案第3号平成21年度辰野町簡易水道特別会計予算

議案第4号平成21年度辰野町小野簡易水道特別会計予算

議案第 5 号平成21年度辰野町公共下水道特別会計予算

議案第 6 号平成21年度辰野町特定環境保全公共下水道特別会計予算

議案第 7 号平成21年度辰野町農業集落排水処理施設特別会計予算

議案第15号平成21年度辰野町有線放送特別会計予算

日程第 9 議案第 1 号平成21年度辰野町一般会計予算の歳出の内3. 民生費、4. 衛生費（水道費を除く）、10. 教育費

議案第 8 号平成21年度辰野町国民健康保険特別会計予算

議案第 9 号平成21年度辰野町国民健康保険第一診療所特別会計予算

議案第10号平成21年度辰野町国民健康保険川島診療所特別会計予算

議案第11号平成21年度辰野町後期高齢者医療特別会計予算

議案第12号平成21年度辰野町老人保健医療特別会計予算

議案第13号平成21年度町立辰野総合病院事業会計予算

議案第14号平成21年度辰野町介護老人保健施設特別会計予算

議案第16号平成21年度辰野町介護保険特別会計予算

日程第10 議案第29号平成20年度辰野町一般会計補正予算（第 9 号）

日程第11 議案第34号平成20年度辰野町国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）

日程第12 議案第37号平成20年度辰野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）

日程第13 議案第38号平成20年度辰野町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）

日程第14 請願・陳情についての委員長報告

日程第15 議員提出議案の審議について

発議第 1 号「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の期限延長に関する意見書

発議第 2 号「汚染米」事件の全容解明と対策を求める意見書

発議第 3 号外米（ミニマムアクセス米）輸入中止を求める意見書

日程第16 議会閉会中の委員会の継続審査について

6. 地方自治法第 121 条により出席した者

町長	矢ヶ崎 克 彦	副町長	赤 羽 八洲男
教育長	古 村 仁 士	代表監査委員	小 野 眞 一
総務課長	平 泉 栄 一	まちづくり政策課長	小 沢 辰 一

住民税務課長	野 沢 修 一	保健福祉課長	井 口 敬 子
産業振興課長	松 尾 一 利	建設水道課長	根 橋 正 美
会計管理者	加 島 範 久	教育次長	白 鳥 義 政
病院事務長	荻 原 憲 夫	福寿苑事務長	金 子 文 武
開発公社常務理事	竹 淵 光 雄	消防署長	丸 山 均
両小野国保病院		社会福祉協議会	
事務長	増 沢 秀 行	事務局長	林 龍 太 郎

7. 地方自治法第 123 条第 1 項の規定による書記

議会事務局長	桑 沢 高 秋
議会事務局庶務係長	飯 沢 誠

8. 地方自治法第 123 条第 2 項の規定による署名議員

議席 第 1 番	中 村 守 夫
議席 第 2 番	矢ヶ崎 紀 男

9. 会議の顛末

○局 長

ご起立願います。（一同起立）礼。（一同礼）

○議 長

定足数に達しておりますので第 4 回定例会第 16 日目の会議は成立いたしました。赤羽副町長が葬儀により欠席しており、終わりしだい出席する予定となっております。直ちに本日の会議を開きます。本日の議事日程はあらかじめお手元に配付したとおりであります。これより日程に基づく会議に入ります。日程第 1、議案第 17 号辰野町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について、日程第 2、議案第 18 号辰野町今村介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について、日程第 3、議案第 19 号辰野町唐木澤介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について、日程第 4、議案第 26 号辰野町介護保険条例の一部を改正する条例について、日程第 5、議案第 39 号辰野町公の施設の指定管理者の指定について、以上 5 議案を一括議題といたします。社会福祉教育常任委員会における審査結果を、社会福祉教育常任委員長山岸忠幸議員より報告を求めます。

○社会福祉教育常任委員長（山岸）

本定例会初日、社会福祉教育常任委員会に付託されました議案第 17 号辰野町介護

従事者処遇改善臨時特例基金の制定について、議案第18号辰野町今村介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について、議案第19号辰野町唐木澤介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について、議案第26号辰野町介護保険条例の一部を改正する条例について、議案第39号辰野町公の施設の指定管理者の指定についての5議案について去る12、13日の両日、副町長及び町担当職員の同席を求め慎重に審査を行いました。以下、審査の結果を報告します。議案第17号辰野町介護従事者処遇改善臨時特例基金の制定について、これは平成21年度介護報酬の改定による保険料の上昇分を抑制し、非保険者の負担の軽減を図るための基金の設置に関して条例を制定したいというものです。改定による保険料の上昇分は2.8%となり、平成21年は全額、22年は半額が交付され2年間で1,276万円となります。委員からは特段意見もなく全員一致で可決としました。議案第18号辰野町今村介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について、議案第19号辰野町唐木澤介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定について、この2議案は今回完成した両施設の設置と管理に関する条例を制定したいとするものです。委員からは運動指導室の料金の違いについての質問がありました。これは今村の方は2部屋に区切って使用できるようになっており、区切りを外して使用する場合は1,000円となり同じであるとのことでした。委員全員一致で両議案とも可決としました。議案第26号辰野町介護保険条例の一部を改正する条例について、これは第4期の介護保険事業計画の策定に伴い介護保険料の改定により条例を改正したいとするものです。この議案は、議案第16号の介護保険特別会計予算と連動しており、当委員会では先に議案第16号を審査したためそちらの方で主に討論がなされました。以下その内容を報告します。ある委員からは、過去3年間の介護保険会計のデータが提出され「毎年保険料収入が伸びていること、また予算では基金からの繰入が予定されているが、決算では繰入れなしで済んでいること、更に予算では基金への積み立てがゼロであるのに、決算では積み立てられていること、それにより基金も順当に増えてきており健全な運営がなされていて、今回保険料値上げの改定はしなくてもやってゆけるのでこの案件は認められない。」といった意見が出されました。これに対し職員からは「保険料収入は確かに伸びているが、保険給付金の方がそれ以上に出ていること、また高齢者の実態調査から施設利用の希望が多いこと、老健施設などもこの3年間に増床計画があること、今回の改定により今後3年間の保険料が決まり途中で

の改定はありえないこと、3年後に大きな値上がりになることで負担増になる。」といった意見がありました。途中、休憩を挟み今回改定の根拠となる保険料推計の資料の提出も求め再度審査しました。他の委員からは「実態調査やきちんとした推計法によって得られた数字であり、今回の改定はやむを得ない。」といった意見が大半でした。採決の結果、賛成5、反対1で可決としました。議案第39号辰野町公の施設の指定管理者の指定について、これは6施設について指定管理者を指定するものです。1辰野町ボランティアセンター、2辰野町老人福祉センター、3辰野町生活支援センターについてはここで期限が切れるため更新するものです。4の辰野町世代間交流施設については世界昆虫館代表者の川島陽江氏に指定するものですが、「個人で大丈夫か。」といった質問があり「子供夫婦も一緒に協力することになっており問題ない。」とのことでした。期間は2年間としてあります。5辰野町今村介護予防センター、6辰野町唐木澤介護予防センターについては特段意見もありませんでした。以上6施設の指定管理者の指定に関して委員全員一致で可決としました。以上委員会における審査の結果を報告しました。全議員の賛同をいただき可決くださいますようお願い致します。

○議長

委員長報告に対する質疑を行います。ありませんか。

(質疑なし)

○議長

質疑を終結いたします。討論をおこないません。ありませんか。

○永原(3番)

私は議案第26号の辰野町介護保険条例の一部を改正する条例の、反対の立場から討論したいと思います。今回の条例改正では今後3年間の介護保険料が決まるわけです。現在の介護保険の実態を見ますと18年度、19年度の決算を見ても基金からの繰入もなく保険給付金も歳入額より上回ることもなく、20年度の見込みも11億4,500万円ぐらいとのこととお聞きしました。よって健全な運営がここ3年はなされていると思います。よって今後3年間、景気の悪化も懸念される中でありますので今回のこの条例には反対です。

○議長

次に、原案に賛成者の発言を許します。

○船木（８番）

只今反対討論がありましたけれども、私はこの議案26号に賛成の立場から討論をしたいと思います。今、介護保険料の収入が多いから上げる必要がないという話がありました。私はここが非常に疑問であります。実は調べてみました。まず保険料が保険料収入が伸びているというのはですね、18年度を1とした場合21年度は1.14倍に伸びております。これは12億 2,570万 6,000円に対して21年度は13億 9,800万ほどで1.14倍です。それに控え保険料給付額はそれ以上に伸びているわけです。まず18年度の10億 7,900万ほどを1として見た時にですね21年度は12億 9,100万円で1.20倍、22年度は14億 200万ほどで1.30倍、23年度は14億 4,600万円ほどで1.34倍と、保険給付率の伸びが遙かに大きくなっております。この伸びはどういうところからくるかというふうに、これも調べてみましたら高齢者が年々増加していることは誰しも認めるところであります。辰野町の65歳以上、18年度は5,943名、これを1として見た場合に21年度は6,287名、1.06倍、22年度6,413名、1.08倍、23年度6,498名、1.09倍と、この中でも特に介護保険を利用する確率の高い後期高齢者の割合はどうかというところを見た時にですね、これは国立社会保障人口問題研究所の資料からでありますけれども18年度は4.5%これが21年度は17.7%、22年度22.2%、23年度26.8%というふうに伸びております。併せてこの第4期保険計画の中での施設の増床計画というのが盛り込まれております。老健施設では福寿苑の30増床、それから民間の医療機関でも増床、それから上伊那圏域で特養と言いますか介護老人福祉施設180床の増床、併せて第4期の中では在宅介護サービスの重視これを上げてるわけです。この中にはデイサービスの充実、それから訪問介護の充実、ここにも大きく投入してかなきゃならんだろうというふうに思います。さきほど委員長報告の中にもありました、併せてですね3年間は途中で料金改定はできないということ、それから今回の変更しなければ第5期のスタート、平成24年度で大幅な負担増になるということ、それからですね今回の改定では第1号被保険者が6段階になっておりますけれども、第4期の中では8段階ときめ細かな対応にもなっております。併せてこの保険料を見た場合、現在3,010円という額はですねこの上伊那の中で当然1番低い額、3,400円になっても上伊那では1番低い額であります。なお上伊那どころか長野県で見た場合ですね、下から6番目というところでありまして、まず1番は南相木村の3,035円、辰野が3,400円の下から6番目と81市町村の中で

も下から6番目という数字であります。以上申し上げました。賛成の討論であります。以上です。

○議長

ほかに討論ありませんか。

○根橋（13番）

議案第26号について反対の立場から、もう少し詳しく討論をしたいと思います。委員会でもいろいろ数字も延べさせていただきましたけれども、全議員の皆さんにもご理解いただきたいという立場から発言、討論をしたいと思います。過去3箇年の決算状況って私は調べてみました。あるいは今年の見込みも聞き取り等行わせていただきました。その特徴見ますとこの間毎年度では、歳入では被保険者の数の増大などによりまして保険料は年々増加し、そして基金を取り崩すこともなく歳入を確保し、歳出では給付費はこれも年々増加をしておりますけれども単年度黒字で経過をしております。しかも18年度にあつては、基金を約580万円積み増しをしてきております。20年度の決算見込みは当然公表されてはおりませんが、給付の伸びは102%程度であり、予算では約5,000万予定をしております基金を取り崩すこともなく決算見込みとなって、約数千万円の黒字というふうに私は推定をしているわけであります。この4年間の状況を見ますと今もありましたが、郡下最低ランクの保険料でありながら単年度収支は黒字、基金も積み増しという極めて健全な言ってみれば優秀な経営を行っているというのが、辰野町の介護保険ではなかろうかと思うわけであります。今回の保険料引き上げについて3年間で、給付費の伸びは20年対比で3年間では126%、金額では約3億円ぐらい増加すると見込んでいるようであります。具体的には特別養護老人ホームで約6名程度、介護老人保健施設では約17名程度の新たな入所計画も盛り込んでいるということでありましてけれども、これについてはこの間議論がありましたように、待機者を解消していくにはむしろまだもっと少ないぐらいで積極的な計画であるべきだというふうに、私は思っているところです。ただここで今必要なことは待機者をなくしていくっていうことと、同時に今も一貫して強めておりますけれども自立支援を充実させて寝たきりをなくしていく努力を引き続き行って、介護で泣かないまちづくりを進めるということを事業計画の上でも、そしてまた経費負担の面でも両立をさせてそして経済的に困難な今の時期を乗り切っていくという、そこでの知恵だというふうに思うわ

けです。今回の引き上げによる増収分というのは2千数百万程度のようにあります。仮に3,000万円としても実際の今の1億3,000万余の基金を充当すれば4年間は単純計算ですが対応できる数字ということで、3月16日付けの『朝日新聞』では全国で約半数が引き上げざるを得ない、小規模自治体を中心に状況がある一方で28%が引き下げ、21%は据え置きということで約半数は据え置かないしは引き下げ、というふうに報道をされております。よって今回の引き上げにつきましては引き上げの根拠が薄弱であって、しかもとりわけ今100年に一度とも言われる未曾有の深刻な経済危機の下では引き上げるべきではないという理由から反対をするものであります。またこの際、施設の不足対策、低所得者対策、保険料負担のあり方、介護労働者の待遇改善など国においてこの介護保険制度の抜本的な見直しが必要になってきているということも併せて意見として申し上げて討論をしたいと思っております。以上です。

○議長

賛成討論ありますか。

○岩田（11番）

賛成の立場から意見を申し述べます。さきほど船木議員の言われた数字が非常に説得力あるわけですがけれども、反対の方もいると思います。これは結局私が思いますのはこれね人生観の問題で、貯金があった方がよいのか暮らしが普通でもね、で毎年キチッとね収入だけを使えばよいのかという話であって、いろいろなこういう特別のそういう保険法やなんか見てみましてもですね、要するに基金にあたる一般家庭で言えば貯金ですか、そういうものが予想しない時にですね突然起こってきてそれがその制度が破綻するということが沢山あると思います。私はですね、この状態が良い時にこそですね先を見据えて少しずつでもですね、先に向かった蓄えをしてかなきゃいけないかなと思う。その意味でこの基金をですね1億3,000万、実際に私は3億くらいあっても良いかなと、そしてそれがこの制度の3年間の後にですね運用して本当に余っているということになれば、辰野町が元気だということですがけれども、これ第1段階でも見ましてもですね、現行の保険料をですね1万8,060円ですか、それがですね21年度で1万9,860円、これは1,000円ですよ、で22年度はもう1,000円上がって2万160円、それから23年度が2万400円とこういうことで大変苦しい中で心苦しいとは、集める方にとってはですね本当に負担が増すわ

けですけれども、それ相応のですね介護体制のサービスを充実させることにおきましてですね、この制度のね適正な運用を図るべきことがですね今後とも必要だと思います。いずれにしてもですねこの原案はですね、今後を見据えた上でですね基金というものは必要だということで賛成です。

○議 長

他に討論はありませんか。

(な し)

○議 長

議案26号の討論を終結します。他の議案に対する討論はありませんか。

(討論 なし)

○議 長

討論を終結します。これより採決をいたします。始めに議案第17号辰野町介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第17号は委員長報告のとおり可決されました。続いて議案第18号辰野町今村介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第18号は委員長報告のとおり可決されました。続いて議案第19号辰野町唐木澤介護予防センター設置及び管理に関する条例の制定についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第19号は委員長報告のとおり可決されました。

続いて議案第26号辰野町介護保険条例の一部を改正する条例についてを採決いたします。反対の意見がありましたので起立により採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決するに賛成の方の起立を求めます。

(議場 起立による賛成 11人)

○議長

起立多数であります。よって議案26号は委員長報告のとおり可決されました。続いて議案39号辰野町公の施設の指定管理者の指定についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議長

異議なしと認めます。よって議案第39号は委員長報告のとおり可決されました。日程第6、議案第20号辰野町地域優良賃貸住宅管理条例の制定について、日程第7議案第43号辰野町道路線の認定について、議案第44号辰野町道路線の変更について、議案第45号辰野町道路線の廃止について、以上4議案を一括議題といたします。総務産業建設常任委員会における審査結果を、総務産業建設常任委員長、矢ヶ崎紀男議員より報告を求めます。

○総務産業建設常任委員長(矢ヶ崎)

本定例会初日、総務産業建設常任委員会に付託された議案第20号辰野町地域優良賃貸住宅管理条例の制定について、去る13日担当課長、職員の同席を求め本制定について慎重に審査を行いました。以下審査の結果を報告します。この条例は特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律の規定に基づき、地域優良賃貸住宅支援制度要綱に沿った地域優良賃貸住宅の設置及び管理について必要な事項を定めるものです。子育て世帯や障害者世帯、高齢者世帯などで居住の安定に配慮が必要な世帯に居住環境が良好な賃貸住宅の供給を促進するため、国が助成を行う制度として発足し一般型と高齢者型があり辰野町は一般型であります。委員会では駐車場の件についての質問があり、1件あたり1台分の専用駐車場は確保されているとのこと。空き地部分については町、地元、区と事前に打ち合わせを行い「迷惑、不法駐車等问题が発生しないよう注意して欲しい。」等の意見がありました。この条例制定に

異議なく全員一致で可と決しました。また本定例会初日、総務産業建設常任委員会に付託された議案第43号辰野町道路線の認定、議案第44号辰野町道路線の変更、及び議案第45号辰野町道路線の廃止について、去る13日担当課長、職員の同席を求め認定、変更、廃止について関連がありますので一括慎重に審査を行いました。以下審査の結果を報告します。議案第43号辰野町道路線の認定については平出団地の建設による町道の付け替え、廃止に伴う認定替えです。また通称北大出南平線、小野雨沢ほ場整備地内、上野ほ場整備地内の町道で中山間総合整備事業の完了に伴う認定であります。議案第44号辰野町道路線の変更については5路線の変更を行うものです。箇所については小野雨沢ほ場整備地内、上野ほ場整備地内の町道、これとともに中山間総合整備事業の完了に伴う変更と、小横川南側町道の終点の変更を行うものです。平出団地内と樋口地籍で箕輪町との境で延長を延ばすものです。町道変更の基準は起点が変わらず終点が変わるものとしています。議案第45号辰野町道路線の廃止については11路線を廃止するものです。平出団地の建設により廃止するものと小横川町道1256号線の変更に伴うもの、北大出南平線の認定に伴うものと上野ほ場整備に伴い廃止するものです。委員会ではこの町道の認定、変更、廃止については異議なく全員一致で可決と決しました。以上4議案について議員全員の賛同により原案可決くださいますようお願いし、委員長報告とします。

○議長

委員長報告に対する質疑を行います。ありませんか。

(質疑 なし)

○議長

質疑を終結いたします。討論をおこないます。

(討論 なし)

○議長

討論を終結いたします。これより採決をいたします。始めに議案第20号辰野町地域優良賃貸住宅管理条例の制定についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって議案20号は委員長報告のとおり可決されました。続いて議案第43号辰野町道路線の認定について、議案第44号辰野町道路線の変更について、議案第45号辰野町道路線の廃止について、関連がありますので一括採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって議案43号、議案第44号、議案第45号は委員長報告のとおり可決されました。日程第8、議案第1号平成21年度辰野町一般会計予算歳入全部、歳出の内、1. 議会費、2. 総務費、4. 衛生費の内、水道費、6. 農林水産業費、7. 商工費、8. 土木費、9. 消防費、12. 公債費、14. 予備費、議案第2号平成21年度辰野町上水道事業会計予算、議案第3号平成21年度辰野町簡易水道特別会計予算、議案第4号平成21年度辰野町小野簡易水道特別会計予算、議案第5号平成21年度辰野町公共下水道特別会計予算、議案第6号平成21年度辰野町特定環境保全公共下水道特別会計予算、議案第7号平成21年度辰野町農業集落排水処理施設特別会計予算、議案第15号平成21年度辰野町有線放送特別会計予算を議題といたします。総務産業建設常任委員会における審査結果を総務産業建設常任委員長、矢ヶ崎紀男議員より報告を求めます。

○総務産業建設常任委員長 (矢ヶ崎)

今議会初日、総務産業建設常任委員会に負託されました議案第1号平成21年度辰野町一般会計予算の内、歳入全部、歳出の内、1. 議会費、2. 総務費、4. 衛生費の内、水道費、6. 農林水産業費、7. 商工費、8. 土木費、9. 消防費、12. 公債費、14. 予備費、議案第2号平成21年度辰野町上水道事業会計予算、議案第3号平成21年度辰野町簡易水道特別会計予算、議案第4号平成21年度辰野町小野簡易水道特別会計予算、議案第5号平成21年度辰野町公共下水道特別会計予算、議案第6号平成21年度辰野町特定環境保全公共下水道特別会計予算、議案第7号平成21年度辰野町農業集落排水処理施設特別会計予算、議案第15号平成21年度辰野町有線放送特別会計予算、以上8議案です。去る3月12日13日の両日、午前9時から委員会室において委員7名全員出席し、町長並びに担当課長、担当職員の説明を求め慎重に審査を

行いました。また3月13日午後1時30分から委員全員で担当課職員の同行のもと役場屋上防水塗装工事予定箇所、辰野ほたる童謡公園安全防護柵設置予定箇所、また鴻ノ田辺地事業排水処理施設、簡易水道施設、町道58号、59号線の改良、消防施設の予定地と城前橋改築事業の現場視察を行いました。議案第1号平成21年度辰野町一般会計予算の内、歳入全部についての主なものとして町税では前年当初に比較して1億1,534万3,000円の減額となっております。これは現下の厳しい経済情勢を見極めたものであります。固定資産税は前年に比較して8,934万7,000円の減額となりましたがこれは3年毎に行われる評価替えによるものです。地方贈与税は前年に比較して890万円の減額、地方交付税については前年に比較して9,000万円増額を見込んでおります。国庫支出金については前年に比較して6,277万5,000円の減額を見込み、これは普通建設事業の減少によるものです。繰入金は前年に比較して9,917万9,000円の増額となり町債も前年に比較して9,800万円増額となりました。教育費国庫補助金の中で辰中の学校耐震化の質問があり、22年度実施予定であるとのこと。総務費県補助金の中でふるさと雇用再生特別基金事業補助金についての質問があり、これは21年新規であります。この補助は新しい事業ではなくてはならない等の縛りがあり土木、建設には適用されず、したがって事務的な仕事が多く年齢的には比較的若い人になる傾向にあります。また身体障害者等支援事業についての質問には、物品販売等の支援を行うとの説明がありました。緊急雇用創出事業補助金についての質問があり、これは雇用創出のための事業等で臨時職員6箇月間雇用するものです。歳出について1.議会費は議員14名と事務局の経費です。2.総務費について「今後とも経費節減を進め、より効果的な行財政運営に努めていく。」との説明がありました。一大居住拠点都市構想の実現に向け防災、住宅、企業誘致など人口増を主眼にした住みよいまちづくりの基盤整備を重点にした積極予算となっていることが見てとれます。一般管理事務の中の職員自己啓発活動助成金について質問があり「人材育成が基本である。」との説明がありました。委員からは「職員を育てることを重点に、上司が部下を教育し常に職場のチェック機能に目を配り職員のアイデアに対してはそれなりの評価を与えることも必要である。」との意見が出されました。衛生費の内、水道費の主なものは上水道事業会計、各簡易水道会計への起債償還負担金、繰出金です。6.農林水産業費について「20年度は特に中山間地でクマ・イノシシ・ニホンジカ・サルなどの被害が多発し深刻であるので21年

度においても更なる対策強化と助成の充実を求める。」意見が出されました。「地産地消事業も大切なものであるのでより一層の検討をお願いしたい。」との意見も出されました。土づくりセンターの今後の運営については「操業依頼年数も10年以上経過し、修繕費も大分嵩んでいるので今後の運営方法等を検討するよう。」要望が出されました。7. 商工費に関しては町融資等に関わる利子補給金保証料、小規模事業指導費補助、商工業誘致及び振興補助金等各種事業への負担金、補助金が主なものです。観光費については横浜開港 150 周年展示参加費とほたるの育成費、ほたる祭り等の負担金が主なものです。「今回の横浜開港 150 周年記念は当町にとっても友好親善を構築していく上で一つの好機と捉え町民参加と行政が一体となり取り込んでいく必要がある。」との意見が出されました。また「町営バス飯沼線運行事業並びに町営バス川島線運行事業が商工費の項目に入っているが、補助事業の絡みも最初あったと思うが、今日では馴染まないのでは変更等も含め検討されたい。」との意見が出されました。8. 土木費について用地対策事業費は辰野町土地開発公社健全化計画による供用済み公有地購入費が主なものです。道路維持費には各区や直営で行う道路、側溝、橋梁等の修繕のための原材料費が計上されています。橋梁整備費は城前橋改築事業費として工事委託料及び城前橋前後の工事費が計上され、本年10月開通を目指しています。委員から除雪委託料についての質問があり「町内業者の保護、育成の立場からも雪が降ろうが、また降らなくても除雪機械にはそれなりの固定経費が掛かるので配慮も必要では。」との質問があり「その点は十分理解し手当を行っている。」との説明がありました。委員会としても今後も引き続き配慮をお願いしたい、との要望を出しました。9. 消防費については事業としては消火栓の新設、常備消防車庫新築工事、改良工事を実施し、また消防ポンプ自動車2台の更新を決め、災害活動の充実を図るとの説明がありました。委員からは「地域のより安全で安心のために地元の要望に最大限の努力をされたい。」との意見が出されました。12. 公債費については「前年に比較して3.4%の減額となり、今後とも公債費比率等財政指標を考慮しながら適債事業を選択し慎重に対応する。」とのことです。14. 予備費については前年と同額の3,000万円を計上しました。以上議案第1号一般会計予算の歳入全部、歳出の内、1. 議会費、2. 総務費、4. 衛生費の内、水道費、6. 農林水産業費、7. 商工費、8. 土木費、9. 消防費、12. 公債費、14. 予備費について採決の結果、委員全員一致で可決としました。

続きまして特別会計について申し上げます。議案第2号平成21年度辰野町上水道事業会計予算について報告します。21年度の主な事業は送水施設改良事業で沢入取水施設整備と導水管改良工事で1,700万円を。配水管布設工事では1,200万円、湯舟高区送水ポンプ更新工事など700万円を計上しました。委員から湯舟PC配水タンク耐震実施設計についての質問があり「これを実施することにより地域の安全・安心に努めたい。」とのこと。またその結果を見て新設した場合の費用は約1億円ほど掛かるとのことであり、できれば自己資金で賄いたいとの説明がありました。各施設の更新改良を計画的に実施し設備の維持管理に努め、安心・安全で安価な水道水の安定供給に努めるよう要望しました。

議案第3号平成21年度辰野町簡易水道特別会計予算について報告します。「8簡易水道の施設維持管理と良質な水質保全に努め水道水の安定供給に意を注ぎたい。」とのこと。

議案第4号平成21年度辰野町小野簡易水道特別会計予算について報告します。「施設更新を計画的に実施する中で施設の維持管理と良質な水質保全に努め、水道水の安定供給を果たしていきたい。」とのこと。「水の確保を十分されているか。」の質問に「今のところは問題ない。」との説明がありました。

議案第5号平成21年度辰野町公共下水道特別会計予算について報告します。「永年の懸案であった辰野駅前地区が平成20年度で整備が終了し、辰野町の下水道整備事業もほぼ完了となり建設の時代から維持管理の時代に入り、今後は効率的な事業運営に努められたい。」との意見が出されました。

議案第6号平成21年度辰野町特定環境保全公共下水道特別会計予算について報告します。「供用開始以来12年が経過し水洗化も順調に推移しており今後も引き続き宅内接続の普及と汚水処理場の適正な維持管理に努めていく。」とのこと。

議案第7号平成21年度辰野町農業集落排水処理施設特別会計予算について報告します。5処理施設の適正な維持管理が主なものです。「今後とも適正な維持管理に努めていく。」とのこと。

議案第15号平成21年度辰野町有線放送特別会計予算について報告いたします。「本年も施設の維持管理に努めるとともに、サービス低下を招くことなく住民に役立つ情報の提供等、加入者に喜ばれる施設として有効に活用していきたい。」との説明がありました。しかし「今日、機器も古くなっており新規の補助事業も見込め

ない中、電話事業の見極めをしながらテレビ機能の強化に努めつつ行政情報の提供や地域の話題等の取材、報道を通じて魅力ある番組作りに努めていきたい。」との説明がありました。委員からも「ほたるチャンネルの充実を図り、住民に身近な話題を提供しより喜ばれる番組作りに努めるよう。」意見が出されました。以上特別会計 7 議案について慎重に審査を行い全員一致で可決としました。予算関連 8 議案の審査結果は以上のとおりです。議員全員のご賛同により原案可決くださいますようお願いして報告といたします。

○議 長

委員長報告に対する質疑を行います。

○根橋（13番）

今の委員長報告の中で一般会計の関係なんですけれども、横浜開港 150 周年記念事業について協働のまちづくりの視点から積極的に取り組んでいくってというような議論がされたようなんですが、具体的には予算のところどころでどのような事業を町の方では考えてるってというような説明があったかちょっと教えていただきたいと思います。

○総務産業建設常任常任委員長（矢ヶ崎）

具体的な説明はないわけですが、これからはこれを一つの好機と捉え観光全般について、例えば物産展と言うのか辰野町から特徴あるものを向こうへ出品するとか、ただスペース的な問題がありますので大量のものはできないかと思いますが、場所が確保できるのであれば、例えば赤レンガの所でそれなりのイベントを組むとかそういうことをしていくということでもあります。

○根橋（13番）

そうしますと具体的には欄にはないけれども商工費の観光事業ですかねの、ところで何らかの具体的な費用を使っていくというふうになっているということでしょうか。

○総務産業建設常任常任委員長（矢ヶ崎）

今後のことなものですからそこらへんも含めて、今後担当部局で検討していくということでもあります。

○議 長

他にございますか。

(な し)

○議 長

質疑を終結いたします。日程第 9、議案第 1 号平成21年度辰野町一般会計予算の歳出の内、3. 民生費、4. 衛生費（水道費を除く）、10. 教育費、議案第 8 号平成21年度辰野町国民健康保険特別会計予算、議案第 9 号平成21年度辰野町国民健康保険第一診療所特別会計予算、議案第10号平成21年度辰野町国民健康保険川島診療所特別会計予算、議案第11号平成21年度辰野町後期高齢者医療特別会計予算、議案第12号平成21年度辰野町老人保健医療特別会計予算、議案第13号平成21年度町立辰野総合病院事業会計予算、議案第14号平成21年度辰野町介護老人保健施設特別会計予算、議案第16号平成21年度辰野町介護保険特別会計予算を議題といたします。社会福祉教育常任委員会における審査結果を社会福祉教育常任委員長、山岸忠幸議員より報告を求めます。

○社会福祉教育常任委員長（山岸）

本議会初日に社会福祉教育常任委員会に付託されました、議案第 1 号平成21年度辰野町一般会計予算歳出の内、3. 民生費、4. 衛生費（水道費を除く）、10. 教育費、議案第 8 号平成21年度辰野町国民健康保険特別会計予算、議案第 9 号平成21年度辰野町国民健康保険第一診療所特別会計予算、議案第10号平成21年度辰野町国民健康保険川島診療所特別会計予算、議案第11号平成21年度辰野町後期高齢者医療特別会計予算、議案第12号平成21年度辰野町老人保健医療特別会計予算、議案第13号平成21年度町立辰野総合病院事業会計予算、議案第14号平成21年度辰野町介護老人保健施設特別会計予算、議案第16号平成21年度辰野町介護保険特別会計予算について、去る12、13日の両日副町長及び担当職員の同席を求め慎重に審査を行いました。以下、順を追って審査の結果を報告します。なお審査をするにつき職員からの説明は、従来のような数字の読み上げは止めていただき、新年度の新規事業の目的やその効果などの説明や前年度と大きく違う箇所の説明を求め審査を行いました。

議案第 1 号の歳出の内、民生費について報告します。社会福祉総務事務の負担金について、大萱の里の負担金は後 7 年で終了します。扶助費の難病患者福祉手当は約50人分、福祉タクシー・バス利用扶助は 149 人を見込んでいます。保健福祉センター管理事務では「今年 6 月に保健福祉課が本庁に戻ることから、その後の施設の利用法について今後十分検討する必要がある。」といった意見が多数ありました。

身体障害者等支援事業では地域活動支援センター横に就労施設が建築され、この4月から利用が始まります。児童手当の扶助費は3歳未満児453人、3歳以上小学校終了前児童1,543人を対象としたものです。保育園運営費の賃金は臨時20名、栄養士1名、調理員15名、延長13名に対するものです。工事請負費295万円の内訳は、羽北保育園のシロアリ防除工事が85万円、中央保育園のプールサイド排水溝修理が110万円です。「前回のシロアリ防除の工事では業者より保証書を取っておらず、今回は保証期間や保証範囲を明確にした保証書を取る必要がある。」といった意見がありました。新町保育園建設事業に関しては、今年度中に建設地を決定し平成22年度に建設予定とのことです。委員からは「中央保育園の過密状態を考慮し地元、保護者の声を大切にし、なおかつ専門家の意見も取り入れた保育園を望む。」といった意見がありました。

次に衛生費について報告します。保健衛生予防事業では21年度日本脳炎の予防接種の復活が予定されており、決定した場合は補正予算で対応したいとのことでした。委託料のうち風疹・麻疹混合接種は平成25年までの間、中学1年生と高校3年生が追加されるものです。環境衛生事業の委託料の内、河川水質測定委託料は町内9河川、14箇所について年4回測定するものです。補助金の中の浄化槽整備事業では5基分、辺地対策浄化槽事業では平成21年から3年間で30基整備するもので、本年度10基分を予定しています。また、生ゴミ処理機は30基分を予定しています。町保険対策推進事業では妊婦検診の補助回数が5回から14回に増えており、補正予算が予定されています。訪問看護ステーション事業は前年より約2倍の予算となっていますが、これは看護師を1名増やすことが大きな要因です。委員からは「高齢化が進み病床数が減らされる中、今後は一層需要の増加が見込まれる事業であるが、収入に対し支出が2倍近くとなっていて、経費の見直しが必要。」といった意見がありました。町側からも「職員配置等考慮する中、黒字を出せる事業と考えている。」といった答えがありました。清掃費の塵芥処理事業では古紙が現在安くなっており、回収業者がストックしている状況とのことでした。厨芥ゴミ再生処理については「大石平での取り組みが1年経過することから、今までの事業評価をし今後の事業の展開を検討する必要がある。」といった意見がありました。伊北環境行政組合の負担金が増額されていますが、これは担当自治体での交付金の算入誤りがあったことによるものとのことであり組合議会での説明を求めました。

次に教育費について報告します。先ず小学校、中学校関係から。教育委員会事務での学校支援コーディネーターは、学校側からの要望とそれに応える約400人が登録されている支援員との間の調整役で、教育委員会に常駐しているとのことでした。小学校ALT講師委託料については、今年度は小学校5、6年で1クラス年15時間の英語の授業をするものです。工事請負費の学校別では西小205万9,000円、東小69万6,000円、南小95万2,000円、川島小51万4,000円、辰野中学191万9,000円となっています。総合学習振興補助については各学校均等割り10万円、後は生徒数割となっています。教職員住宅の空き部屋対策では豊南短大に貸すなど有効利用がされているとのことであり、今年度からの横浜市との人事交流の職員もここに入るとのことでした。小学校、中学校全般的に見て本年度南信図書館大会が11月17日に西小をメイン会場として辰野中学、中央保育園で開かれるため備品費等が若干増額されています。借地料について「買い取ることはできないのか。」との質問には「地主側の要望もありなかなかできない。」とのことでした。昨年も出されましたが「夜遅くまで学校の職員室の明かりがついており、事務処理に時間が費やされているのではないか、パソコンの有効利用などでもっと合理化すべきである。」といった意見がありました。

次に社会教育他について、公民館の分館・集会所の改修は平出下町、中央コミュニティ、渡戸の3箇所です。図書館の外壁工事はタイル目地を埋めるものであり、また町民体育館の外壁工事は南側の改修です。青少年健全育成事業の子育て支援マスターについて「地区により温度差があり先進的な地区の取組み等の研修や意見交換の場が必要。」といった意見がありました。「美術館周囲の樹木が大きくなり景観が損なわれているといった声がある。」との発言があり、今後地元区や所有者との話し合いを検討するよう求めました。

次に特別会計に移ります。議案第8号平成21年度辰野町国民健康保険特別会計予算、国民健康保険税は平成19年改定の税率を維持するものの、基金からの繰入を約4,200万円予定しています。現在の国保加入の状況は世帯数で3,276世帯42.5%、人数では5,868人26.48%の加入となっています。出産育児一時金は一人42万円の30人分を予定しています。疾病予防費の人間ドッグ補助金では、日帰り2万円で85人、一泊4万円で35人、脳ドッグは2万円で30人の補助を見込んでいます。

議案第9号平成21年度辰野町国民健康保険第一診療所特別会計予算、並びに議案

第10号平成21年度辰野町国民健康保険川島診療所特別会計予算について、第一診療所は毎週月曜日と金曜日の午後、川島診療所は火曜日の午後それぞれ診療しています。今後も医師の確保ができれば続けていきます。

議案第11号平成21年度辰野町後期高齢者医療特別会計予算、現在75歳以上の、3,196人が対象者となっています。

議案第12号平成21年度辰野町老人保健医療特別会計予算、後期高齢者医療制度ができたことにより廃止となる会計ですが、国・県の指導により平成22年度まで存続します。

議案第13号平成21年度町立辰野総合病院事業会計予算、本年度予算は従来の数字合わせの予算ではなく、当初から収入より支出が約1億円多い不均衡予算となっています。また一般会計からの繰入も以前はその都度補正予算で組んできたものを、当初より3億5,000万円見込んであります。なおこの5月から常勤の内科医が一人増えます。委員からは「以前より分かり易くなっており、また赤字幅をいかに縮めるか目標が持てるのでは。」といった意見がありました。人件費について「現在職員の給与比率が66.8%ある中、改革プランでの目標値を55.0%にするには相当な努力が求められる。」といった意見がありました。材料費については「ジェネリック薬品の使用や他の病院や施設との共同購入、前払いによる購入等も考えられるのでは。」といった意見がありました。職員からは「同じ薬品でも病院で買うのと、訪問看護ステーションで買うのとでは違いがある。」など専門業界ならではの難しさの声もありました。患者動向の話の中から「診療、看護、事務など病院のあらゆる部門でのサービスの向上が求められていること、また近隣自治体への宣伝の仕方も工夫して外来の患者を増やすことが重要。」といった意見が出されました。

議案第14号平成21年度辰野町介護老人保健施設特別会計予算、職員1名減による減額が主なものとなっています。また介護報酬の2.8%アップに関してはリハ部門で400から500万円増収が見込まれるといった説明でした。待機状況では伊那谷での老健施設の待機者が271人いて、福寿苑では27人いるとのことでした。また待機期間も長い人では1年待ちといった状況です。増床計画に関して、現在策定中の第4期介護保険計画で平成22年に30床の増床を計画しているとのことでした。これについて委員からは「病院の移転新築計画と並行して検討する必要があること、民間業者が運営する状況が増える中、今後民間での運営や指定管理者での運営といったこ

とも検討する必要がある。」といった意見が出されました。通所リハに関して1日6.5人での計画であり実態と乖離しており危惧する声があり、この部門の宣伝・充実に求める意見がありました。

議案第16号平成21年度辰野町介護保険特別会計予算、この議案に関しては先に議案第26号の介護保険条例の一部改正のところで報告したとおりであります。採決の結果賛成5、反対1で可決としました。以上、本定例会、社会福祉教育常任委員会に付託されました議案については慎重に審査の結果、議案第16号を除く全ての議案を委員全員一致で可決といたしました。また議案第16号については賛成多数により可決といたしました。全議員の賛同をいただき可決くださいますようお願いし、委員長報告といたします。なお委員会最終日16日には、本年度予算に計上されている町民会館舞台吊り物設備改修工事、図書館外壁工事、西小・東小耐震補強工事、町民体育館外壁工事、障害者就労支援施設、老人福祉センター内壁、床張り替えの各現場を視察し、担当職員の説明を受けました。併せて報告いたします。

○議長

委員長報告に対する質疑を行います。ありませんか。

(質疑 なし)

○議長

質疑を終結いたします。只今、各常任委員長の審査結果報告の中に要望事項等がありましたので町長より答弁を求めます。

○町長

各委員会審査ご苦労さまでございました。その中で若干要望のあるということですが、検討事項もございすが一応町の見解を少し述べさせていただきたいと思ひます。まず総務産業建設常任委員会の方であります。町営バスの予算につきまして、現在これに対しましては商工費の方に乗せてあるわけですが、補助金の関係があつてそのようになったわけですが、今の現在の状態から見ると他の科目の方が良いのではないかということでもあります。交通対策とかあるいはまた比較ということもありますので、一応検討してみたいとこんなふうにお伝えを申し上げたいと思ひます。また土づくりセンター今後の運営につきましてということで、こちらの方へも質問項目として上げられておりますが、非常に10年経過して修理費も大分嵩むということではありますが、今後の運営方法、当然検討はしなくてはならないと

こういうふうにも考えております。除雪に対しましては一般質問でも答えましたとおりでありますので、今後検討することは当たり前でございますのでそのぐらいにさせていただきます。上水道施設に対しましては更新改良計画ということですが、下水とともに大分やっけてまいりました。給水管自体の石綿管からダクタイル鋳鉄管などに交換というようなことで、自動的にやっているわけではありますが、なお少しまた残っているとこもあつたりということでもありますから、当然これも進めてまいります。

次は社会福祉教育常任委員会の方でございます。訪問看護ステーションにつきまして赤字が出ているわけではありますが、黒字の所があるということでもありますので早速検討をして町も黒字化の方向にできるかどうか、また検討しなきゃならないということで担当課の方に本日申しつけておきますので、データなどもまたこちらの方へ報告いただきます。なおまた皆さんに報告が必要でしたら報告いたしますし、黒字化になるようなことはもうすぐにできればそのとおり着工していきたいと、このように思っております。またゴミの減量化ということで大石平他ほか、大石平で一応実験で中間ゴミの再生処理事業というものを1年やってみたわけではありますが、有効かどうかこのへんに対しましてということでもあります、今データをまとめているところでありますので、これについて良ければ当然事業を展開しなけりゃならないということでもあります。段ボール箱へ土を入れてまた生ゴミなど入れて、段々生ゴミが自然に減っていくというような方向であります。昨日の衛自連でもその実際の実験結果なども発表されておりますので、これから分析をして検討を行うというところでもあります。保健福祉課の本庁移転につきましてではありますが、その後ぬくもりの里の今使っている保健福祉課の所をどうするかということでもあります、当然町もいろいろ腹案を持っております。事実上即刻今の時点で考えられるのは、JAのぬくもりの里でのデイサービスの方で使えるかどうか、しかし使用料はどうか、また社会福祉協議会が後ろの方へ建物と同じようにセットバックして事務所入り込んだらどうかと、じゃあ社協の方の今のところはどうかと、いろんなことも関連で出てまいりますので今併せまして、この間移転が私の方で決断して決定させて発表させていただいた直後でありますのでこのことも鋭意、随時検討していくということでもあります。なお本庁に来た場合の相談室の取り方他なども今現状では研究をしているところです。場所につきましては1、2案どこに、本庁のどこ

にするかということもありますので、進めてまいるといことで6月の発足を目指してドンドン進めてまいります。なおまたこれはお話を申し上げましたように、やはりこのワンストップということをしてできるだけ住民の利用者の目線に立ってやっていくことであるので、一般質問でお答えを申し上げたとおりであります、しかしワンストップというのはそこにじーっとして全部が良いかっていうことでなくて、だいたい後ろ向いたり5、6歩、20歩ぐらい歩けばというふうなことも考えております。なおまた保健福祉だけ、保健福祉医療に関するものの一本化的なワンストップもありますけれども、そこへその用で来られて他に建設だとかあるいは農業の問題だとか、税金の問題だとかいうようなこともその本庁の中でのワンストップという、本庁の中であちらこちらへ行けば、外へ出て行って他の所へ3歩も4歩も車に乗って行ってくれというようなことでない、とりあえず本庁でのワンストップを更に充実させ、拡大させていくとこういうことでもあります。また職員も大分減ってまいりました。減ってまいりましたのでということもあります。なお下水道事業も一応終焉を迎えて水道課が昔別館にありましたが、この人たちも現在本庁に入っているわけでありまして。それにしてみたら非常に人数が少なくなっているなというところは皆さん方お気づきだと思います。こんなことで行革全体の流れの中で減らすことが良いことってということばかりでなくて、国の交付金削減によってそうせざるを得ないという部分もありますので、鋭意行革という名前の下で進めている一端であるところこんなふうにもおとりいただければと思います。以上であります。

○議長

次に委員長報告の行われました日程第8から日程第9までについて、一括して討論を行います。ありませんか。まず、原案に反対者の発言を許します。

○根橋（13番）

議案第16号平成21年度辰野町介護保険特別会計予算の反対の立場から討論をしたいと思っております。この理由につきましてはさきほどの議案第26号辰野町介護保険条例の一部を改正する条例のところ、述べた理由と全く同じでありまして、今回歳入につきまして介護保険収入がそれを値上げを前提としているということ、そのところがさきほどの条例と反対の理由で、反対でありますので全体としてトータルとして反対ということで意見を申し上げたいと思っております。以上です。

○議 長

次に原案に賛成者の発言を許します。

○船木（8番）

平成21年度辰野町介護保険特別会計予算、賛成の立場から討論をします。さきほどの議案26号の改正に基づいた予算書であるために26号で縷々申し上げました理由を併せてですね、この16号賛成の立場で討論いたしました。以上です。

○議 長

ほかに討論ありませんか。議案第16号の討論を終結します。他の議案に対する討論ありませんか。

（な し）

○議 長

討論を終結いたします。これより採決いたします。始めに議案第1号平成21年度辰野町一般会計予算についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は原案可決であります。各委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議 長

異議なしと認めます。よって議案第1号は委員長報告のとおり可決されました。次に議案第2号平成21年度辰野町上水道事業会計予算、議案第3号平成21年度辰野町簡易水道特別会計予算、議案第4号平成21年度辰野町小野簡易水道特別会計予算、議案第5号平成21年度辰野町公共下水道特別会計予算、議案第6号平成21年度辰野町特定環境保全公共下水道特別会計予算、議案第7号平成21年度辰野町農業集落排水処理施設特別会計予算、議案第8号平成21年度辰野町国民健康保険特別会計予算、議案第9号平成21年度辰野町国民健康保険第一診療所特別会計予算、議案第10号平成21年度辰野町国民健康保険川島診療所特別会計予算、議案第11号平成21年度辰野町後期高齢者医療特別会計予算、議案第12号平成21年度辰野町老人保健医療特別会計予算、議案第13号平成21年度町立辰野総合病院事業会計予算、議案第14号平成21年度辰野町介護老人保健施設特別会計予算、議案第15号平成21年度辰野町有線放送特別会計予算、議案第16号平成21年度辰野町介護保険特別会計予算、以上15議案の内、反対意見のありました議案第16号を除く14議案についてを一括採決いたします。

お諮りいたします。本案に対する各委員長報告は原案可決であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議長

異議なしと認めます。よって議案第16号を除く14議案につきましては、委員長報告のとおり可決されました。次に議案第16号について反対の意見がありますので、起立により採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は、原案可決であります。委員長報告のとおり決するに賛成の方は、起立願います。

(議場 起立による賛成 11人)

○議長

起立多数であります。よって議案第16号につきましては、委員長報告のとおり可決されました。只今より暫時休憩といたします。なお再開時間は3時30分といたします。

休憩開始 15時 15分

再開時間 15時 30分

○議長

休憩前に引き続き再開いたします。日程第10、議案第29号平成20年度辰野町一般会計補正予算(第9号)を議題といたします。これより質疑を行います。

○根橋(13番)

20ページですけれども、退職手当負担金1,030万の増額ということですが、この年度末で退職される職員の方は総勢何人になるのか、これで退職手当は足りるのかどうかお伺いをしたいと思います。それから35ページですけれども道路建設基金の積立5,000万円となっておりますけれども、年度末の残高はいくらになるかの2点についてお伺いをしたいと思います。

○総務課長

この3月末での退職は20名を予定をしております。それから今回お伺いをいたしました退職手当の関係につきましては早期退職による退手組合の負担金と広域派遣等に関わります、派遣期間のある退職者に対する負担でございます6名分の負担金を予算計上させていただいたところであります。以上です。

○まちづくり政策課長

前年度末で 6,400 万でありますので、これを加えまして 1 億 1000 万となります。

○議長

他にございますか。

○船木（8 番）

24ページと25ページですが、24ページのところに福祉車両 400 万備品購入費で載っております。それから25ページにやはり福祉車両備品購入費の 400 万、ここは平出地区介護予防ということで載っておりますが、福祉車両ということになれば車イスが入る特殊車両と思いますけれどもどのような車で、福祉車両の目的は分かりますが平出でその福祉車両というのがどういうものなのかお尋ねします。それともう 1 点ですが32ページに機構造林受託事業、この中の工事請負費不用減額、これはおそらく18ページの機構造林受託事業、これと関連したものと思うんですが不用減額ということになれば工事の中止だろうと思います。どうして工事が中止されたのか、以上 2 点お願いします。

○保健福祉課長

まず最初に24ページの事業コード0320の備品購入費の 400 万円福祉車両でございますけれども、これにつきましては地域介護福祉空間整備等交付金事業といたしまして、町が福祉車両を購入し介護予防事業等への高齢者の送迎に利用するものでございます。活用方法といたしましては、各区あるいはボランティア団体で手を上げていただきまして、無償で譲渡したいと考えております。ただし維持・管理費等は区や団体に負担していただきたいと思っております。本予算が承認されましたら、早急に車種等の選定を行ってまいりたいと思っております。続きまして25ページの事業コードが0327平出地区介護予防空間整備事業でございます。これも備品購入費 400 万でございますけれども、これは平出地区の要望に基づきましてやはり同じ地域介護福祉空間整備等交付金を活用いたしまして、平出区の介護予防事業を進めるために高齢者の送迎用福祉車両の購入と、長い足の机と椅子等を購入するものでございます。さきほど町議さんの方からおっしゃいましたように、車イス等の搭載のできる車両を検討しております。以上でございます。

○産業振興課長

それでは0662の機構造林受託事業の工事請負費の関係でありますけれども、この機構造林受託事業というのは現在の国の独立行政法人森林総合研究所という名前で

ございますが、旧緑資源公団から町が受託を受けて保育等を行うものでございましてこの不用減額につきましては本年度当初、作業道を整備するために400万の予定をしていたわけでありまして、その付け替え道路の設計が上手くいかずに検討中ということで森林総合研究所の方から、検討中ということでこの受託費がこななかったことによりまして作業路建設をあきらめたものでございます。以上です。

○船木（8番）

今の件ですけれども21年度に向けてはどんな状況であるのか、お尋ねしたいです。

○産業振興課長

保育等の作業をするためにも森林総合研究所へ要望して設計等を協議しているところでございます。

○議長

他にございますか。

○成瀬（7番）

26ページでありますけど保育園の運営事務、臨時保育士調理員の賃金でありますけど、この549万円何人分でしょうか。

○教育次長

ちょっと臨時の関係と調理の関係、両方ですけどもちょっとこれ両方の詳しい人数をちょっと細分化してありませんので、ちょっと調べますんで。

○議長

後ほどでも良いですか。

○成瀬（7番）

はい。

○議長

他にございますか。質疑を終結いたします。討論を行います。ありませんか。

（討論なし）

○議長

討論を終結いたします。これより議案第29号平成20年度辰野町一般会計補正予算（第9号）を採決いたします。お諮りいたします。本案は、原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議 長

異議なしと認めます。よって議案29号は、原案のとおり可決されました。日程第11、議案第34号平成20年度辰野町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）を議題といたします。これより質疑を行います。ありませんか。

（質疑 なし）

○議 長

質疑を終結いたします。討論を行います。

（討論 なし）

○議 長

討論を終結いたします。これより議案第34号、平成20年度辰野町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）を採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議 長

異議なしと認めます。よって議案34号は、原案のとおり可決されました。日程第12、議案第37号平成20年度辰野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を議題といたします。これより質疑を行います。ありませんか。

（質疑 なし）

○議 長

質疑を終結いたします。討論を行います。

（討論 なし）

○議 長

討論を終結いたします。これより議案第37号平成20年度辰野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）を採決いたします。お諮りいたします。本案は原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議 長

異議なしと認めます。よって議案37号は、原案のとおり可決されました。ここでさきほどの件につきまして教育次長より発言を求めます。

○教育次長

賃金の関係ですけれども、当初の予算関係が十分盛ってなかったということの中で臨時の保育士が20人、それと調理員が6名というような人数があります。以上です。

○議長

日程第13、議案第38号平成20年度辰野町介護保険特別会計補正予算（第3号）を議題といたします。これより質疑を行います。ありませんか。

（質疑 なし）

○議長

質疑を終結いたします。討論を行います。

（討論 なし）

○議長

討論を終結いたします。これより議案第38号平成20年度辰野町介護保険特別会計補正予算（第3号）を採決いたします。お諮りいたします。本案は、原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議長

異議なしと認めます。よって議案第38号は、原案のとおり可決されました。日程第14、請願・陳情についての委員長報告を議題といたします。本定例会初日に、総務産業建設常任委員会へ付託となりました陳情について、総務産業建設常任委員長より、審査結果の報告を求めます。地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情書、「汚染米」事件の全容解明と対策を求める陳情書、外米（ミニマムアクセス米）輸入中止を求める陳情書、以上3件について、総務産業建設常任委員会における審査結果を総務産業建設常任委員長、矢ヶ崎紀男議員より報告を求めます。

○総務産業建設常任委員長（矢ヶ崎）

本定例会初日、総務産業建設常任委員会に付託された陳情第1号地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情書、陳情第2号「汚染米」事件の全容解

明と対策を求める陳情書について、陳情第3号外米（ミニマムアクセス米）輸入中止を求める陳情書、3件について去る12日、13日担当課長、職員の同席を求め慎重に審査を行いました。以下審査の結果を報告します。陳情第1号は東海地震の想定震源域が見直されたことに伴い、平成14年4月には地震防災対策強化地域が拡大され、長野県においても辰野町を含む上伊那、諏訪地域等13市町村が追加指定されました。この間地震財特法を根拠法とする5箇年ごとの地震対策緊急整備事業計画に基づき関係市町村は施設整備を鋭意進めております。しかし今後なお整備を必要とする事業が多く残されており、また近年の国内外における大地震により得られた教訓を踏まえ、公共施設の耐震化、防災資機材の整備等を一層推進することが大変重要であります。平成21年度末をもって効力を失おうとしている「地震財特法」の期限延長を強く要請していく主旨には委員全員賛同し、採択と決しました。

次に陳情第2号「汚染米」事件の全容解明と対策を求める陳情書について「輸入汚染米」事件は日本の食の安全を脅かし凶りしれない衝撃をもたらしました。不正転売した業者の責任とともに汚染された米を輸入し、規制緩和で流通を市場に任せた国の責任は大きく問われています。汚染米流通先の公表が全体の2割程度に留まっており食の安心、安全を求める国民の声はますます大きくなっております。委員からも食の安心、安全は私たちにとっても最も重要であり、今回のような事件が2度と起きないように「汚染米事件」の全容解明を行うとともに抜本的な防止対策を求める本陳情の主旨に理解を示し採択と決しました。次に陳情第3号外米「ミニマムアクセス米」輸入中止を求める陳情書について、輸入汚染米事件により日本の食の安全が大きく脅かされました。また国際的には米や穀物の需要がひっ迫し、米の多くを外国に依存している途上国においては、深刻な食料危機となっております。国内では「生産過剰」が米価下落の原因であるとして生産調整が拡大、強化されてきました。今期歪の輸入汚染米事件が発生した中、農民の多くは「4割も減反する一方でなぜ大量の米を輸入しているのか。」という声が湧き上がっています。委員からも「今、もっとも大切なことは安全な国産米を増産して国民に供給すること、そのために減反政策を見直すことも必要であり、それが世界の食糧危機に貢献できる道である。」との本陳情の主旨に理解を示し採択と決しました。以上陳情3件の委員会での審査結果を報告し別途意見書を提案いたしますので、議員全員の賛同により原案可決くださいますようお願いし委員長報告とします。

○議 長

委員長報告に対する質疑、討論を行います。ありませんか。

(質疑、討論 なし)

○議 長

質疑、討論を終結いたします。これより採決いたします。はじめに地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の期限延長を求める意見書提出に関する陳情書についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は、採択であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって本案は委員長報告のとおり採択することに決しました。次に「汚染米」事件の全容解明と対策を求める陳情書についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は、採択であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって本案は委員長報告のとおり採択することに決しました。続いて外米（ミニマムアクセス米）輸入中止を求める陳情書についてを採決いたします。お諮りいたします。本案に対する委員長報告は、採択であります。委員長報告のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって本案は委員長報告のとおり採択することに決しました。日程第15、議員提出議案の審議についてを議題といたします。はじめに、発議第1号「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の期限延長に関する意見書の提出についてを議題といたします。議案の朗読をいたさせます。

○事務局長

(発議第1号 朗読)

○議 長

これより質疑、討論を行います。ありませんか。

(質疑、討論 なし)

○議 長

質疑、討論を終結いたします。これより、発議第1号「地震防災対策強化地域における地震対策緊急事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の期限延長の
関する意見書の提出についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は、原案
のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって発議第1号は原案のとおり可決されました。次に、
発議第2号「汚染米」事件の全容解明と対策を求める意見書の提出についてを議題
といたします。議案の朗読をいたさせます。

○事務局長

(発議第2号 朗読)

○議 長

これより質疑、討論を行います。

(質疑、討論 なし)

○議 長

質疑、討論を終結いたします。これより、発議第2号「汚染米」事件の全容解明
と対策を求める意見書の提出についてを採決いたします。お諮りいたします。本案
は、原案のとおり決するにご異議ありませんか。

(議場 異議なしの声)

○議 長

異議なしと認めます。よって発議第2号は原案のとおり可決されました。次に、
発議第3号外米（ミニマムアクセス米）輸入中止を求める意見書の提出についてを
議題といたします。議案の朗読をいたさせます。

○事務局長

(発議第3号 朗読)

○議 長

これより質疑、討論を行います。ありませんか。質疑、討論を終結いたします。これより発議第3号外米（ミニマムアクセス米）輸入中止を求める意見書の提出についてを採決いたします。お諮りいたします。本案は、原案のとおり決するにご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議 長

異議なしと認めます。よって発議第3号は原案のとおり可決されました。日程第16、議会閉会中の委員会の継続審査についてを議題といたします。総務産業建設常任委員長、社会福祉教育常任委員長、及び議会運営委員長から別紙のとおり、「閉会中の継続審査申し出書」が提出されました。お諮りいたします。辰野町議会会議規則第72条の規程により各委員長申し出のとおり、議会閉会中の継続審査を認めたいと思いますがご異議ありませんか。

（議場 異議なしの声）

○議 長

異議なしと認めます。よって議会閉会中も各委員会の継続審査を認めることに決しました。以上で本定例会の日程は全部終了いたしました。ここで、町長から挨拶を受けます。

○町 長

議会閉会にあたりまして一言お礼とご挨拶を申し上げます。この4月から予算議会ということで、大変重い議会であったかと思いますがそれぞれ提案事項が皆さん方の審議を附してここに採決、可決いただきましたことをありがたく御礼申し上げます。さてさきほど来もお話がございますとおり、町の職員も幹部職員を含めて大勢が今年は退職ということになります。その分だけ新たな職員を入れるわけに全員を人数分だけ補給というわけにいきません。今までも大分減らしてまいりまして、一時事務職吏員が234名ぐらいのところから現在は180名ぐらいまで減っております。さらに行革では150名までということでもありますので、段々減らしていきなかなきゃなりません。こういう中でしかも一人当たりの仕事量が相当増えてきていることは皆さん方もお分かりかと思えます。これはできるだけ均して均等に負担をとというふうにはやっておりますが、仕事によってなかなか全員が同じ時間に

なったら全部兼務をこなせるというものではありません。ばらつきもどうしても出てきてしまいます。そういう中でありますので、職員の方も非常に重圧が掛かっていることも事実であります。辰野以外では、ということではありません。どこでもそんなことで大変、今公務員の中から病人が出てきていると、精神的な病人が出てきているってもう大分増えてきている状況であります。同時にまた住民の皆さん方に減ったことによってサービスが低下するということが事実上これは無理からぬ理由として起こっております。できるだけ辰野町もそういったこと防ぐような状態で人員削減に入ってきておるわけでありますので、是非一つ皆さん方もご理解いただきそしてまた叱咤激励をいただき、なおまたいろいろお気づきの点があったら早めにお知らせをいただきたいと、こんなふうにも思っております。なお今回の予算が時代要求型積極予算ということでありますので、動もいたしますと何でもできるかと取られるような嫌いもあるようであります。ずうっと今まで下がってきて本来ですともうちょっと下がることを無理矢理上へ向けて2.3%のアップということであります。時代要求の今一番最たるものはやはり世界恐慌ということに対してできるだけ行政も、末端行政も努力してこの景気対策に入ろうというのが主眼の狙いの中の一つでもあります。他にもいろいろございますけれども、そんな中でもいきますので是非一つ欲をかかずにということでがんばっていきたいと思いますので、ご理解をまずはいただきたいとこんなふうに思っております。なおこの喫緊のいろんな行事といたしましては、平出のおかげさまで団地が優良地ということで、地域優良の昔は特公賃というのがずーっとあったんですけども優良の賃貸住宅であります。そういうことでつい昨日引き取りをして、私ども見てまいりました。非常にすばらしい広さもやはり田舎であるがためということですが、相当のスペースもとりましてできるだけ安価でお貸せできるようなものにしていきたいと、こんなふうに思っております。また皆さん方にも内見もいただきたいと思ひますし、またこれはやはり一大居住拠点都市構想の一つのモデルとして良ければまたいろんな財政にもよりますけれども、そういったことで早く埋まり需要が出てくるようでしたら他の方へも考えてかなきゃならないし、また平出団地ももう少し増設してかなきゃならないと、一つの起爆剤になるんじゃないかとこんなふうにも考えております。是非また皆さん方のご高説も見た上いただきたい、同時にまた入居者も早く埋まるように一緒にご協力もお願い申し上げたいとこんなふうに思っているわけであります。なおまた長

年、長年にわたって続けてまいりました下水道事業であります、ここで前からお話申し上げてますとおり一応終焉に近づいたわけでありまして、この落成式とも近々行っていきたいということで、今企画いたしております。どうかご参加いただきこの文化生活がこの下水道によって相当できてきているということを楽しみ、また今後の施設を上手くまたあまりお金を掛けずに運営ができて、そして人々の更にまた生活が向上することを期待するものであります。近々のことを述べましたが、是非一ついろんな中で苦しい中ではございますが、がんばってやり抜いてるということも認めていただきなまた悪いところがあればまたご指摘をいただくということも、議会でなくても途中でもお出かけいただいてまたお知らせいただきたいとこんなようお願いするものであります。それではさきほど言いましたように大事な3月議会で行いました。心から皆さん方のご審議に感謝申し上げまして、終わりのお礼の言葉にいたします。ありがとうございました。

○議長

次に3月末をもって定年退職いたします、平泉栄一総務課長、根橋正美建設水道課長、白鳥義政教育次長、加島範久会計管理者、野沢修一住民税務課長、丸山均消防署長より挨拶をしたい旨の申し出がありますので、これを許可いたします。最初に、平泉総務課長。

○総務課長

退職にあたりまして一言お礼のご挨拶を申し上げたい、というふうに思います。私は35年11箇月勤務させていただいたところでございます。この間自治体を取り巻く状況につきましては、劇的な大きな変化がもたらされた期間でもございました。今後も同じような変化がよりスピードアップされてもたらされるのではないかとこのように予想をしているところでございます。しかしながら今後それを克服して辰野町がますます発展していくことを、心から期待を申し上げるものであります。この勤務の間、議員の皆様にはご指導、ご支援を賜りまして心から感謝を申し上げたいというふうに思います。辰野町議会並びに議員の皆様のご活躍とご健勝で活躍されることをご祈念もうしあげまして、感謝の挨拶とさせていただきます。長い間どうもありがとうございました。

○議長

次に、根橋建設水道課長。

○建設水道課長

この3月末の退職にあたり一言お礼を申し上げたいと思います。私は昭和42年に役場の職員として採用をいただきました。振り出しは水道課でありました。当時は給水エリアも非常に少なく水道の給水の工事から、水源の管理、料金の徴収までやらせていただきました。この1年間につきましては特に先輩に多くのことを教えていただいて今でも非常に記憶に残っているところであります。それから多くの仕事に携わらせていただきました。課長職としては開発公社、最後に建設水道課長ということで勤めさせていただきました。多くの皆さんの支援をいただき定年を迎えることになりました。最初と最後に水道事業に携わったということで、何か縁があるかなって今思っているところであります。多くの思い出を沢山いただきました。本当に感謝を申し上げるわけであります。最後に辰野町そして辰野町議会が明るく安心、安全なまちづくりにますますご精進いただいて、皆様方がご健勝で活躍されることを祈念申し上げて退職にあたり一言ご挨拶させていただきます。長い間大変ありがとうございました。

○議 長

続いて、白鳥教育次長。

○教育次長

役場へ昭和42年4月奉職して、42年間お世話になりました。私が奉職した時代は樋口町長さんの時代でありました。高校時代野球部に所属しておりましたので面接の際は「球が好きか仕事が好きか。」というような言葉をいただきまして、「野球が好きだ。」というようなことで大分笑われました。それから42年経ったわけですが、沢山の皆さんのおかげでここまでやってこれました。厚く感謝申し上げたいと思います。自分でも今になればよく42年間がんばれたなあというような感じがしております。役場では事務関係、事業課関係を経験させていただきました。これからは家に入りまして一町民となりますけれども、これからは辰野町がますます栄えることをお祈りしまして、また議員の皆様方のますますのご健勝をご祈念申し上げまして、退職の挨拶に替えさせていただきます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

○議 長

続いて、加島会計管理者。

○会計管理者

一言御礼を申し上げたいと思います。昭和48年、新築移転後にお手伝いとしてこの議場の隣の録音室からガラス越しに見つめましたこの議場、平成7年初答弁をさせていただきますましたこの議場、また最後にこの議場で最後のご挨拶ができますことは一重に議員皆様方の叱咤激励のおかげと感謝申し上げるとともに、町議会のますますのご発展と議員皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして簡単でございますけれども、挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○議 長

続いて、野沢住民税務課長

○住民税務課長

今日は3月議会終了後の大変お疲れのところ、貴重な時間をいただきありがとうございます。この3月末をもって定年退職するにあたりまして一言お礼を申し上げます。その前にこの度辰野町議会が全国でも数少ない中、議会の活性化に努められた功績によりまして、全国町村議会議長会表彰を受けられたこと誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。私は昭和45年の11月に辰野町役場に奉職依頼、38年5箇月の長きにわたり勤務させていただきました。最初の勤めは農政、耕地、林務、共済の係などがある経済課という課でありました。最初の勤めが技術系だったせいとその後も建設関係の仕事が主でありました。中でも街路、公園、下水道などの都市計画の仕事での思い出が深く、特に下水道についてであります。基本計画の策定から来年は供用開始となる年まで関わってきました。またその後は商工林務課に異動にもなったりはしましたけれども、平成14年には建設課長として異動となり、駅前の区画整理事業について考えることとなりました。これも結果として下水道を整備することになりまして、区画整理の課題は残りましたが過去の40何年とこの先を考えた時、下水道事業を優先したことは正しい選択であったと思っております。下水道の話ばかりになりましたが、無事この日を迎えられることに対し議員の皆様にはいろいろな話をしたり、さまざまな仕事の中でお世話になったことへのお礼を申し上げなければならないところでありますが、終わりに辰野町議会の発展と議員各位のますますのご健勝、ご活躍をお祈りいたしまして長い間お世話になったことに対するお礼の挨拶とさせていただきます。

○議 長

最後に、丸山消防署長。

○消防署長

3月末をもって退任をさせていただきますのでご挨拶をさせていただきたいと思
います。私は昭和46年、辰野町消防本部、当時職員は5名でありました。それに消
防車1台という本部へ入りましてまだその時は救急業務が辰野町では行われていな
い時でありました。それで昭和48年に伊那消防組合が発足しまして伊那消防組合の
方へ派遣ということで、辰野消防署へ勤務して38年になります。今立派な消防署を
建てていただきまして消防車輛も大分増えております。救急車2台、これも全部高
規格救急自動車というような格好で町民の皆さんの安心、安全の暮らしができるよ
うな格好で38年間仕事をさせていただきました。この間議員の皆さんあるいは町の
理事者の皆さんには非常にお世話になりました。私辞めても家へ入ってちょっと畑
でもやろうかなっていうふうには今は考えてます。辰野町の議会がますます発展して、
議員の皆さんがご健勝でご活躍されることをお祈りしながら退職のご挨拶とさせて
いただきます。大変ありがとうございました。

○議 長

以上で本日の会議を閉じます。これをもちまして3月4日に開会しました平成21
年第4回辰野町議会定例会を閉会といたします。16日間の長丁場、大変ご苦労さま
でした。

1 1 . 閉会の時期

3月19日 午後 16時 15分 閉会

この議事録は、議会事務局長 桑沢高秋、庶務係長 飯沢誠の記録したもの
であって、内容が正確であることを認め、ここに署名する。

平成 年 月 日

辰野町議会議長

署名議員 番

署名議員 番